

令和8年4月から

赤ちゃんのために ママやパパが できること



RSウイルス感染症に対する 母子免疫ワクチンの定期接種が始まります



市ホームページ

対象

接種日時時点で
妊娠28週～36週6日の方

自己負担

なし

県外での 接種

事前申請で払い戻しができます。
健康課へご連絡ください。

予診票

母子手帳交付時に交付
※交付済みで、4月1日以降に接種対象と
なる方には個別で予診票を送付

接種方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

乳幼児が感染すると重症化のおそれも

RSウイルスは、呼吸器感染症を引き起こすウイルスで、生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼ全員が1度は感染します。
症状は、発熱や咳、鼻水などから重い肺炎までさまざまですが、特に生後6カ月以内の乳児は重症化しやすいため注意が必要です。

ママから赤ちゃんへの贈りもの

妊婦が母子免疫ワクチンを接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて赤ちゃんへ移行します。そのため、生まれてすぐの赤ちゃんをRSウイルス感染症から守ることができます。

風しん(任意)予防接種費用を助成します

対象

市内に住所を持つ風しん抗体価の低い※方で、いずれかに該当する方
①妊娠希望女性
(妊娠中は受けられません。)
②①または抗体価の低い妊婦の夫・同居者など
※風しん抗体価HI法で16倍以下(抗体価が不十分とされる値)または同等程度

助成金額

麻しん風しん予防接種 10,000円
風しん予防接種 6,700円

申請方法

健康課の窓口で申請

申請に必要な書類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

風しんとは？

風しんは、妊娠中の女性が感染すると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障を主症状とする「先天性風しん症候群」を発症することがあります。

風しん抗体価とは？

風しんウイルスに対する体内の免疫の指標です。対象者に該当する場合は、「岐阜県無料風しん抗体検査事業」が利用できます。詳しくは岐阜県ホームページをご覧ください。



問 健康課 (☎内線623・625)